

財務省委託

広報資料の改善を目的とした各種調査
【会場調査報告書】

令和2年3月

株式会社サーベイリサーチセンター

目 次

1 調査概要	3
1-1 調査の目的	4
1-2 調査の設計	4
1-3 分析方法	5
1-4 調査物件	6
2 調査結果	12
2-1 回答者のプロフィール	13
2-2-1 結果の詳細 ※子ども（調査対象者）	21
2-2-2 結果の詳細 ※保護者（調査対象者）	28
2-2-3 結果の詳細 ※その他	31

1 調査概要

1-1 調査の目的

- 広報資料を呈示して情報量の適切性、読み易さ、わかりやすさ、内容の理解度について評価を得て、今後の資料の改善に資する。

1-2 調査の設計

- 地 域 東京首都圏
- 調査方法 会場集合調査
広報資料を呈示し、調査員が記入用紙およびヒアリングシートを用いて対象者（子どもおよび保護者）から意見を聴取する。
- 調査内容 『「財政学習教材」日本の財政を考えよう』令和元年 12 月版を呈示して「読み易さ」「難易度」「情報の量の適切性」「新たな発見の有無」「興味喚起度」「ページやチャートごとの評価」他、内容の伝わり具合や改善への意見を採取する。
- 調査対象 首都圏に住む小中学生の男女 23 名（小学生は高学年）
※調査には親も同席
WEB アンケートモニターに対しリクルート調査を実施。条件に合致する対象者に依頼。下記学年別の割付・回収を行った。

目標回収サンプル割り付け

地域		小学生	中学生			総計
		高学年	1年生	2年生	3年生	
1	首都圏	6	6	6	6	24
計		6	6	6	6	24

回収サンプル数

地域		小学生	中学生			総計
		高学年	1年生	2年生	3年生	
1	首都圏	8	6	4	5	23
計		8	6	4	5	23

- 実施期間 2020年2月29日、3月1日
- 実施場所 東京都荒川区内の調査会場
- 実施機関 株式会社サーベイリサーチセンター

1-3 分析方法

- 集計は、全質問についての全サンプルの回答結果と、学年別のブレイクダウンを採用。
- 報告書は、全質問についての全サンプルの回答結果、必要に応じて学年別の結果、および保護者の結果を示すチャートとコメントを加え、冒頭に要約を入れている。

1-4 調査物件

提示資料（パンフレット）

財政学習教材

日本の財政を考えよう

国のお財布事情を知っていますか？

- ① 私たち一人ひとりの将来にかかわる日本の「おカネ」の問題について、一緒に考えてみませんか。



令和元年12月

目次

1. 「財政」とは	2
2. 国の「歳出」	3
3. 「社会保障」の支出	4
4. 「社会保障」以外の主な支出	5
5. 国の「歳入」	7
6. 「税」の種類	8
7. 国の「歳入」と「税収」の推移	9
8. 国の「借金」の状況	10
9. 「借金」の国際比較	11
10. 「借金」が積み上がった原因	13
11. 「借金」の問題点	14
12. 高齢化と社会保障給付の見通し	15
13. 社会保障の給付と負担の関係	16

1

1. 「財政」とは

- 私たちが健康で豊かな生活を送るためには、国や都道府県、市区町村などから、様々な「公共サービス」を提供してもらう必要があります。
- しかし、国などが公共サービスを提供するにはお金が必要です。そのためのお金を国民みんなが出し合って（税金）、みんなの生活に役立つことに使っていく活動を「財政」といいます。

(公共サービスの例)

<p>① 学校で勉強するために</p> <p>公立学校に通う児童生徒 1人当たりの教育費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校：約93万円 ・ 中学校：約108万円 ・ 高等学校：約120万円 	<p>② 少ない負担で治療を受けられるようにするために</p> <p>医療費（国民1人当たり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 64歳以下：約3万円 ・ 65～74歳：約8万円 ・ 75歳以上：約35万円
<p>③ 生活に必要な道路、洪水を防ぐ堤防などを整備するために</p> <p>・ 17.6兆円 ⇒ 国民1人当たり約14.0万円</p>	<p>④ 町をきれいにするために</p> <p>・ 2.3兆円 ⇒ 国民1人当たり約1.8万円</p>
<p>⑤ 犯罪から守るために</p> <p>・ 3.3兆円 ⇒ 国民1人当たり約2.6万円</p>	<p>⑥ 火事から守るために</p> <p>・ 2.0兆円 ⇒ 国民1人当たり約1.6万円</p>

(注) ①～②は平成28年度、③～⑥は平成29年度の金額。

国の1年間の「支出」はどうなっているの？



2. 国の「歳出」

- 国の1年間の支出を「歳出」といいます。
- 内訳を見ると、医療、年金、介護などの費用である「社会保障」が約3割、「借金の返済と利息」が約2割となっています。



「社会保障」の中身はどうなっているの？



3

3. 「社会保障」の支出

- 国が使うお金（歳出）のうち、最も大きい割合を占める支出は、社会保障の34兆円で、医療、年金、介護、生活保護、子ども・子育てのための費用などに使われています。

12兆円 医療	<p>怪我や入院をしても、少ない自己負担（現役世代が3割、高齢者が1割～2割）で、治療を受けられるよう支援しています。</p>	
12兆円 年金	<p>高齢者に支払われる年金の一部を国が負担し、老後の生活を支援しています。</p>	
3兆円 介護	<p>介護認定を受ければ、原則1割の自己負担で、介護サービスを受けられるよう支援しています。</p>	
3兆円 生活保護	<p>病気や障害で働けず、生活に困っている人などが最低限度の生活を送れるよう支援しています。</p>	
2兆円 子ども・子育て	<p>保育所を設備したり、子育て世代に給付金を交付することで、子どもを安心して生み、育てることができるよう支援しています。</p>	

(注) 内訳の金額は一部重複している場合があります。

「社会保障」以外の支出はどうなっているの？



4

4. 「社会保障」以外の主な支出

- 「社会保障」の次に大きな支出として、どこでも一定のサービス水準が維持されるように、国が調整して都道府県と市区町村に配分する「地方への交付金」に16兆円が使われています。
- また、道路整備などの公共事業に7兆円、国を守ってくれる自衛隊の運営に5兆円、学校教育などに必要な費用に4兆円が使われています。

16兆円
地方への交付金

地方団体が提供する警察や消防、ごみ収集などの公共サービスについて、全国どこでも一定のサービス水準が維持されるよう、国が調整して必要な費用を配分しています。

7兆円
公共事業

道路や河川の堤防、ダムなどの建設・整備に使われています。

5兆円
防衛

戦争や災害が起きたときに日本の国民や領土を守る役目がある自衛隊の運営に使われています。

4兆円
教育

小中学校の児童生徒が使用する教科書の無料配布や、教職員の給料の一部負担など、教育に関する様々な支出をしています。

5

- このほか、科学技術の研究や食料・エネルギーの安定的な供給、開発途上国への支援など様々なものに多くのお金が使われています。

1.4兆円
科学技術振興

人工衛星を飛ばすためのロケット開発や、新しいエネルギーや防災技術の開発など、科学技術の発展のために使われています。

1.0兆円
食料安定供給

おいしい農産物を食卓に安定的に届けたり、農業の生産性を高めるために使われています。

1.0兆円
エネルギー対策

省エネルギーや再生可能エネルギーの技術開発や、石油・天然ガスなどを安定的に送るための調査研究などに使われています。

0.5兆円
国際協力 (ODA)

開発途上国に資金援助をして、橋や道路を整備したり、子供たちが医療や教育を受けられるようにしています。

国の1年間の「収入」はどうなっているの？

6

5. 国の「歳入」

- 国の1年間の収入を「歳入」といいます。
- 国の歳入のうち、税金は約3分の2にとどまり、残りの約3分の1は「新たな借金」で構成されています。



「税」の種類はどうなっているの？

7

6. 「税」の種類

- 代表的な「税」は、所得税、消費税、法人税であり、これらの合計で税金の大半を占めています。
- このほかにも、揮発油税、相続税、酒税、たばこ税などの様々な税があります。

① 雇人の給料などから払う
所得税 (20兆円)

② 買い物をするときに払う
消費税 (19兆円)

③ 会社が利益から払う
法人税 (13兆円)

④ ガソリンなどを買うときに払う
揮発油税 (2.3兆円)

⑤ 財産を相続するときに払う
相続税 (2.2兆円)

⑥ お酒やたばこを買うときに払う
酒税 (1.3兆円)
たばこ税 (0.9兆円)

国の「歳出」と「税収」の推移を見てみよう！

8

10. 「借金」が積み上がった原因

- 1990年度と現在の歳出・歳入を比べてみると、「社会保障」の費用が約3倍に伸びている一方で、税収などの収入は伸び悩んでいます。
- こうした中、伸び続ける「社会保障」の費用などをまかなうために、国は毎年、新たな借金を積み重ねてしまいました。



(注) それぞれの年度の当初予算で比較しています。

「借金」にはどんな問題があるの？

13

11. 「借金」の問題点

- 今の世代が借金をして、自分たちのために支出を行うと、子どもや孫、ひ孫など、将来の世代に重いツケを回すことになります。

受益と負担のアンバランス

- 緩い財政規律のもとでは、財政支出の中身が中長期的な経済成長や将来世代の受益に資するかのチェックが甘くなりやすいです。



将来の世代における望ましくない再分配

- 将来世代のうち国債保有層は償還費などを受け取る一方、それ以外の国民は社会保障関係費などの抑制や増税による税負担を被ることになりかねません。
- また、将来世代は自ら決定に関与できなかったことに税負担などを求められ、望ましくない再分配が生じます。



財政の硬直化による政策の自由度の減少

- 経済危機時や大規模な自然災害時の機動的な財政上の対応余地が狭められてしまいます。

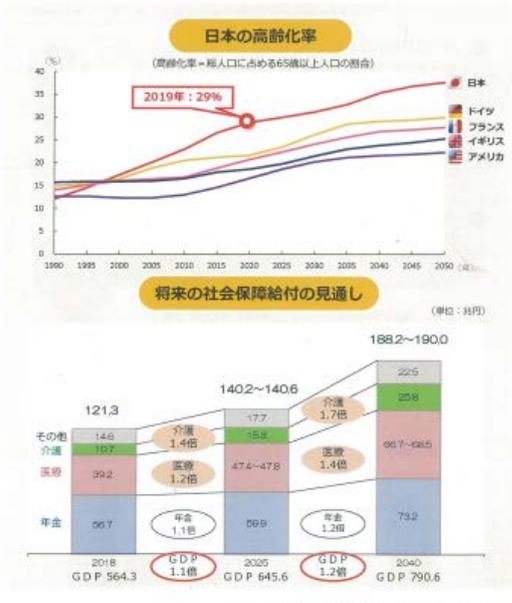


「社会保障」の費用はこれからどうなっていくの？

14

12. 高齢化と社会保障給付の見通し

- 日本は他国よりも早く高齢化が進んでおり、将来の社会保障の給付に必要な費用は、税収を生み出す元となる経済活動の規模 (GDP) を大きく上回って、急速に増えていくと見込まれています。

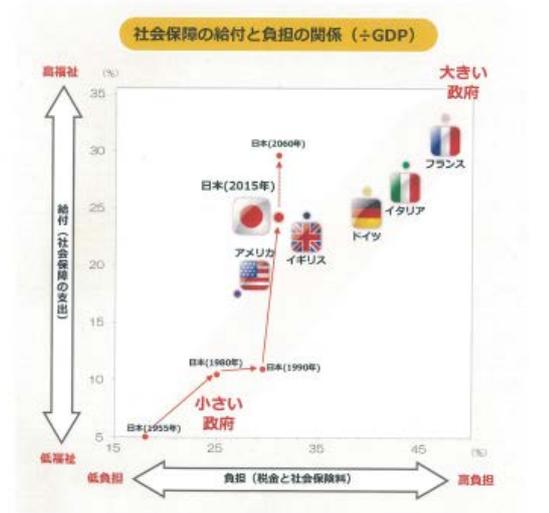


社会保障制度はどうすれば維持できるの？

15

13. 社会保障の給付と負担の関係

- 主要先進国に比べて、日本の社会保障は「給付」(社会保障の支出)と「負担」(税金と社会保険料)のバランスが取れておらず、その状況は今後もさらに進んでいくと見込まれています。
- 高齢化が進行する中での給付と負担のバランスについては、引き続き、国民全体で話し合っていくことが必要です。皆さんも社会保障の給付と負担を今後どうしていくか、考えてみましょう。



16

記入用紙

「日本の財政を考えよう」パンフレットの調査に関するアンケート 記入用紙（保護者さま向け）

入力欄にはご記入を、選択肢のあるものにはあてはまるものに○をおつけください
まずはじめにご回答者さま（保護者さま）とお子さまのお名前やご年齢等をおうかがい
します。

ご回答者さま（保護者さま）とお子さまのお名前をご記入いただき、下の項目にそれぞれ
お答えください

	ご回答者さま（保護者さま）	お子さま
お名前 (カタカナ)	様	様
性別	1.男性 2.女性	1.男性 2.女性
ご年齢	20代 30代 40代 50代 60代以上	____歳
学校 学年	—	学校：1.公立 2.私立 学年：1.小学__年生 2.中学__年生
同居家族 (複数回答)	1.配偶者 2.子ども ※本日ご同席したお子さま以外の人数と年齢をご記入ください。 2-1.兄 ()名 ()歳 ()歳 ()歳 ()歳 ()歳 2-2.弟 ()名 ()歳 ()歳 ()歳 ()歳 ()歳 2-3.姉 ()名 ()歳 ()歳 ()歳 ()歳 ()歳 2-4.妹 ()名 ()歳 ()歳 ()歳 ()歳 ()歳 2-5.その他 ()名 ()歳 ()歳 ()歳 ()歳 ()歳 3.父親（配偶者の父親を含む） ※お子さまからみておじいさま 4.母親（配偶者の母親を含む） ※お子さまからみておばあさま 5.祖父母 6.孫 7.その他 ()	

1

おふたりの「日ごろの情報源」や「財政、政治等の情報源」についてお答えください

	ご回答者さま（保護者さま）	お子さま
日ごろの 情報源	1.テレビ（ニュース番組）	1.テレビ（ニュース番組）
	2.テレビ（バラエティ番組）	2.テレビ（バラエティ番組）
	3.インターネット広告	3.インターネット広告
	4.ニュース・情報サイト、ニュースアプリ	4.ニュース・情報サイト、ニュースアプリ
	5.新聞	5.新聞
	6.雑誌	6.雑誌
	7.ラジオ（国）や地方自治体（事務職員、市町村）のホームページ	7.ラジオ（国）や地方自治体（事務職員、市町村）のホームページ
	8.家族・親戚の談話	8.家族・親戚の談話
	9.友人・知人の談話	9.友人・知人の談話
	10.有内会・自治会などのイベントや集会	10.有内会・自治会などのイベントや集会
	11.LINE、Twitter、Facebook等のSNSからの情報	11.LINE、Twitter、Facebook等のSNSからの情報
	12.学校の授業	12.学校の授業
	13.課外授業	13.課外授業
	14.その他： 1	14.その他： 1
財政、政治等 の情報源	上記の選択肢番号をご記入ください。	上記の選択肢番号をご記入ください。

ご回答者さま（保護者さま）と配偶者さまの就労状況や家庭環境等についておうかがい
します。

ご回答者さま（保護者さま）と配偶者さまについて、下の項目にそれぞれお答えください

	ご回答者さま（保護者さま）	配偶者さま ※別紙で「就業票」に○を付けた方のみ回答
就労状況等	1.フルタイムで就労	1.フルタイムで就労
	2.パート/7割 [※] 未満で就労	2.パート/7割 [※] 未満で就労
	3.専業主婦（主夫）	3.専業主婦（主夫）
	4.その他 ()	4.その他 ()
お子さまと 接する時間	学校のある日 約__時間	学校のある日 約__時間
	学校のない日 約__時間	学校のない日 約__時間

2

つづいて、財政に関する興味や関心、また現在の知識等について質問します。

	ご回答者さま					配偶者さま					お子さま				
日本の財政に関する興味・関心	ある	ない	ある	ない	ある	ない	ある	ない	ある	ない	ある	ない	ある	ない	
	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

日本の財政に関する以下の内容について、それぞれ「内容自体を知らない」から「内容を人に説明できるくらい詳しい」まで、どの程度ご存知ですか。
あてはまるものをそれぞれお選びください。（○はそれひとつ）

ご回答者さま（保護者さま）	内容自体を知らない	内容を聞いたことがある程度	内容を要知知っている	内容を人に説明できる
1. 国の財政	1	2	3	4
2. 国の予算の使われ方（歳出）	1	2	3	4
3. 国の社会保障の内訳や割合	1	2	3	4
4. 国の社会保障以外の主な歳出	1	2	3	4
5. 国の歳入（税収や借金）	1	2	3	4
6. 税金の種類やその割合	1	2	3	4
7. 国の借金の状況	1	2	3	4
8. 国の借金が積み上がった原因	1	2	3	4
9. 国の借金の問題点	1	2	3	4
10. 高齢化による日本の財政への影響	1	2	3	4
11. 社会保障の給付と負担の関係	1	2	3	4

次ページ以降はパンフレットをご確認いただいた後にご回答頂きます。

3

それでは、再度財政に関するご質問をさせていただきます。（パンフレット確認後）

	ご回答者さま					配偶者さま					お子さま				
日本の財政に関する興味・関心	ある	ない	ある	ない	ある	ない	ある	ない	ある	ない	ある	ない	ある	ない	
	5	4	3	2	1	—	—	—	5	4	3	2	1	—	

日本の財政に関する以下の内容について、それぞれ「内容自体を知らない」から「内容を人に説明できるくらい詳しい」まで、どの程度ご存知ですか。
あてはまるものをそれぞれお選びください。（○はそれひとつ）

ご回答者さま（保護者さま）	内容自体を知らない	内容を聞いたことがある程度	内容を要知知っている	内容を人に説明できる
1. 国の財政	1	2	3	4
2. 国の予算の使われ方（歳出）	1	2	3	4
3. 国の社会保障の内訳や割合	1	2	3	4
4. 国の社会保障以外の主な歳出	1	2	3	4
5. 国の歳入（税収や借金）	1	2	3	4
6. 税金の種類やその割合	1	2	3	4
7. 国の借金の状況	1	2	3	4
8. 国の借金が積み上がった原因	1	2	3	4
9. 国の借金の問題点	1	2	3	4
10. 高齢化による日本の財政への影響	1	2	3	4
11. 社会保障の給付と負担の関係	1	2	3	4

最後に本日お子さまがパンフレットをお読みになって、財政に関する知識が身に付いたと
思いますか。

	お子さま				
日本の財政に関する知識	とても身に付いた	少し身に付いた	あまり身に付いた	まったく身に付かなかった	まったく身に付かなかった
	5	4	3	2	1

4

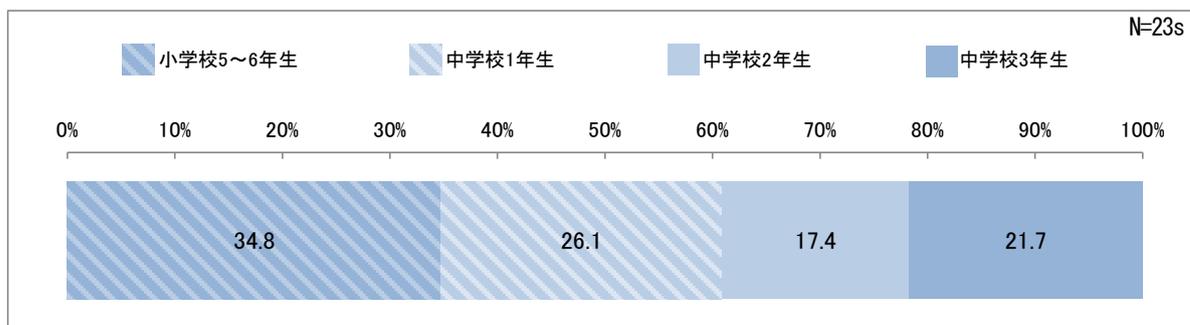
2 調査結果

2-1 回答者のプロフィール

・有効回答総数は23サンプル、回答者のプロフィールは以下の通り。

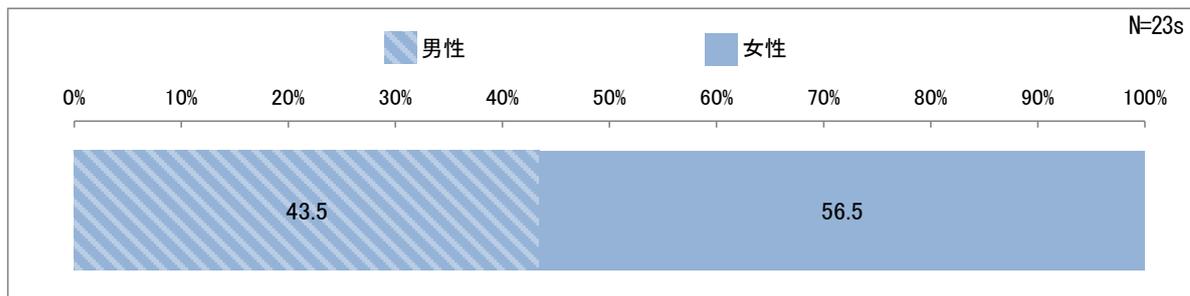
子ども（調査対象者）

■ 学年



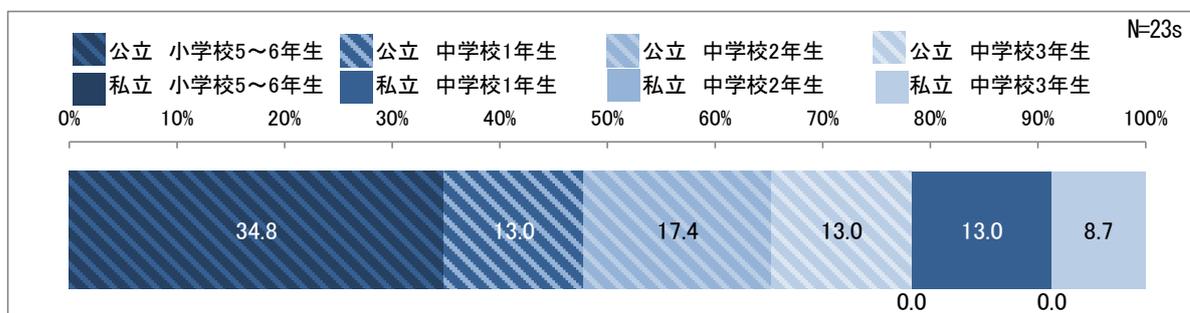
・「小学校5～6年生」が34.8%、「中学1年生」が26.1%、「中学2年生」が17.4%、「中学3年生」が21.7%。

■ 性別



・「男性」が43.5%で「女性」が56.5%。

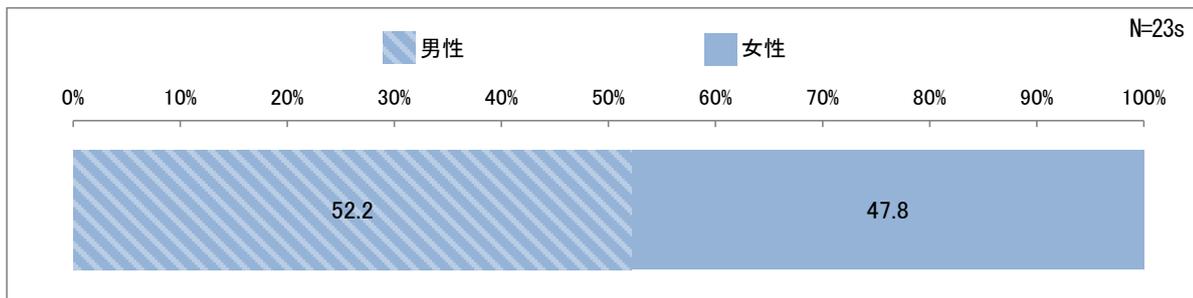
■ 学校種別（公立・私立別）



・「公立」が78.3%で「私立」が21.7%。

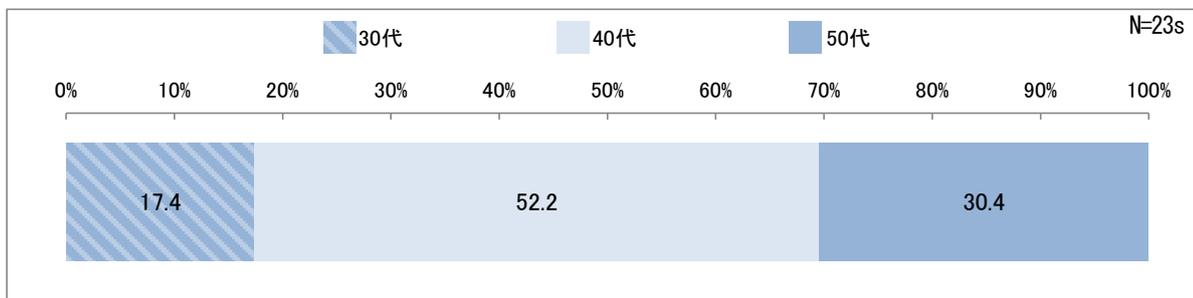
保護者（調査対象者）

■ 性別



・「男性」が52.2%で「女性」が47.8%。

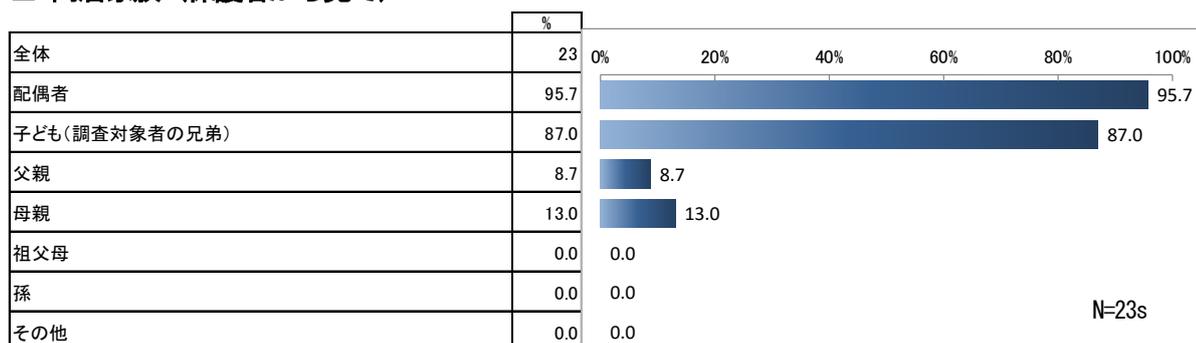
■ 年代別



・「30代」が17.4%、「40代」が52.2%、「50代」が30.4%。

家庭環境

■ 同居家族（保護者から見て）



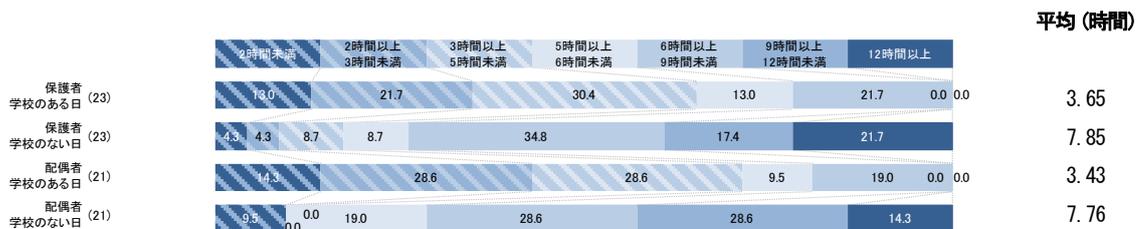
・「配偶者」が95.7%、「子ども（調査対象者の兄弟）」が87.0%。

■ 就労状況等 ※保護者（調査対象者）および配偶者

		(人)				
保護者	配偶者	全体	フルタイム で就労	パート・アルバイト で就労	専業主婦(主夫)	その他
	全体		21	16	4	1
	フルタイム で就労	12	7	4	1	0
	パート・アルバイト で就労	4	4	0	0	0
	専業主婦(主夫)	5	5	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0

- ・両者「フルタイム」が7人。
- ・「フルタイム」と「パート・アルバイト」の組み合わせが8人。
- ・「フルタイム」と「専業主婦(主夫)」の組み合わせが6人。

■ 子ども（調査対象者）と接する時間 ※保護者（調査対象者）および配偶者



- ・学校のある日は、平均して3~4時間子どもと接している。
- ・学校のない日は、平均して7~8時間子どもと接している。

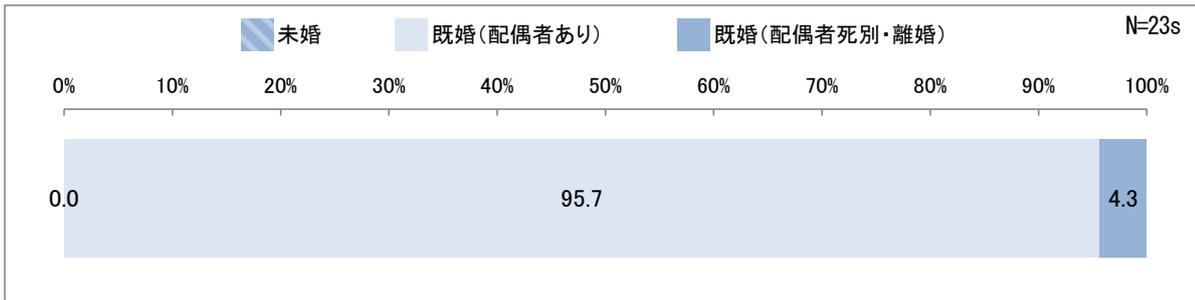
【参考】保護者（調査対象者）のその他情報

■ 最終学歴



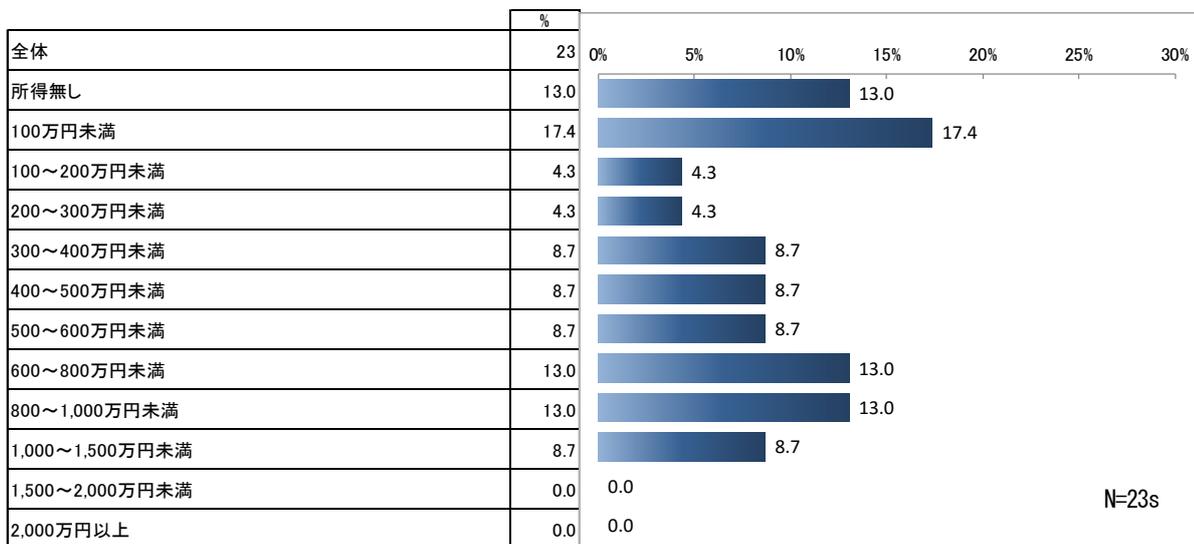
- ・「大学」が47.8%で最も多く、次いで「高等学校」の26.1%。

■ 婚姻状況

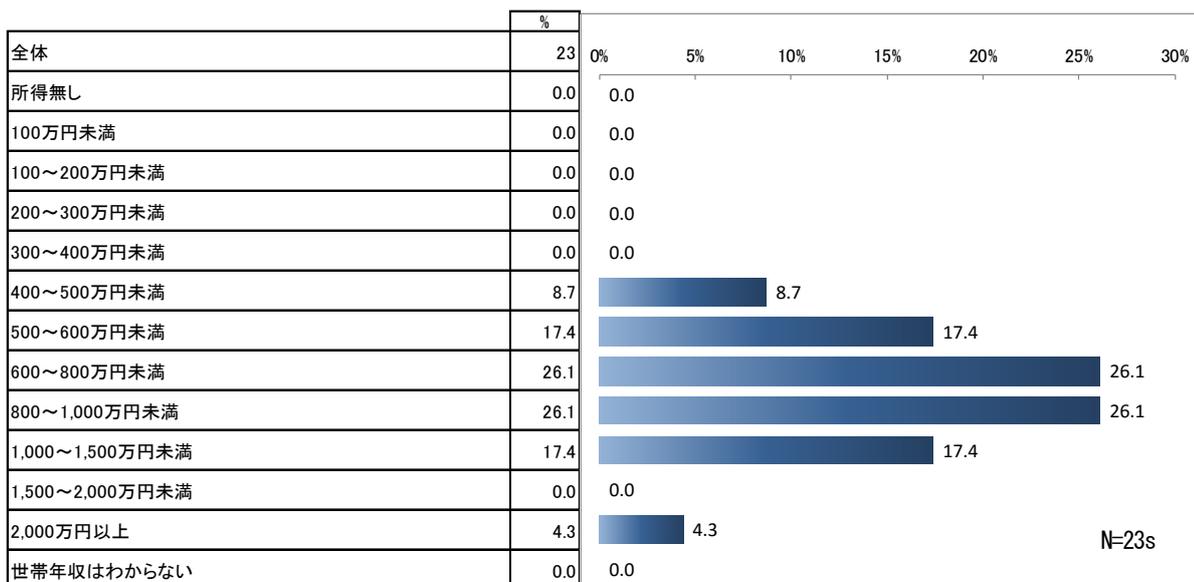


・「既婚(配偶者あり)」が95.7%、「既婚(配偶者死別・離婚)」が4.3%。

■ 個人年収 ※保護者(調査対象者)



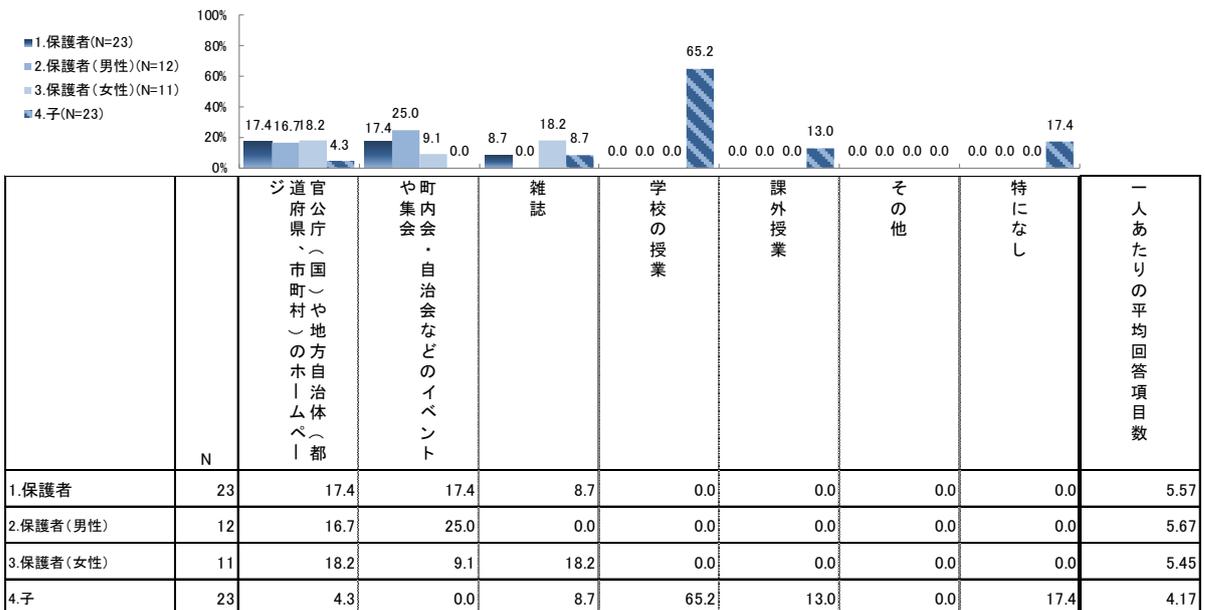
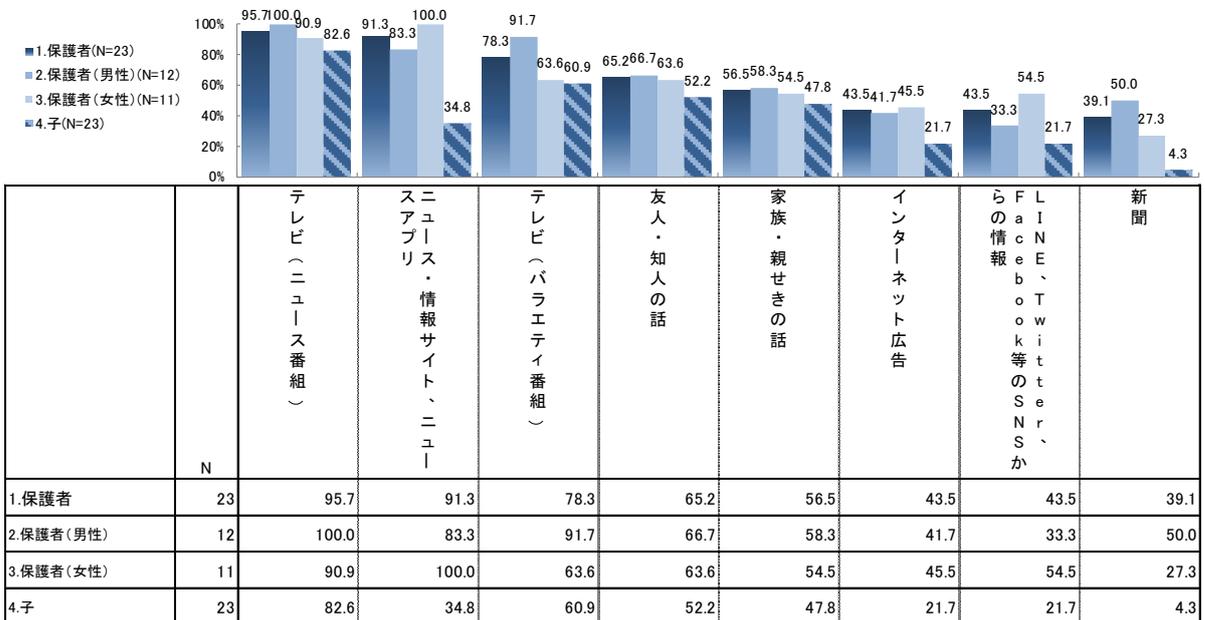
■ 世帯年収



・世帯年収は、400万円未満はいない。
 ・「600～800万円未満」「800～1,000万円未満」がともに26.1%で最も高い。

日頃の情報源や財政に関して

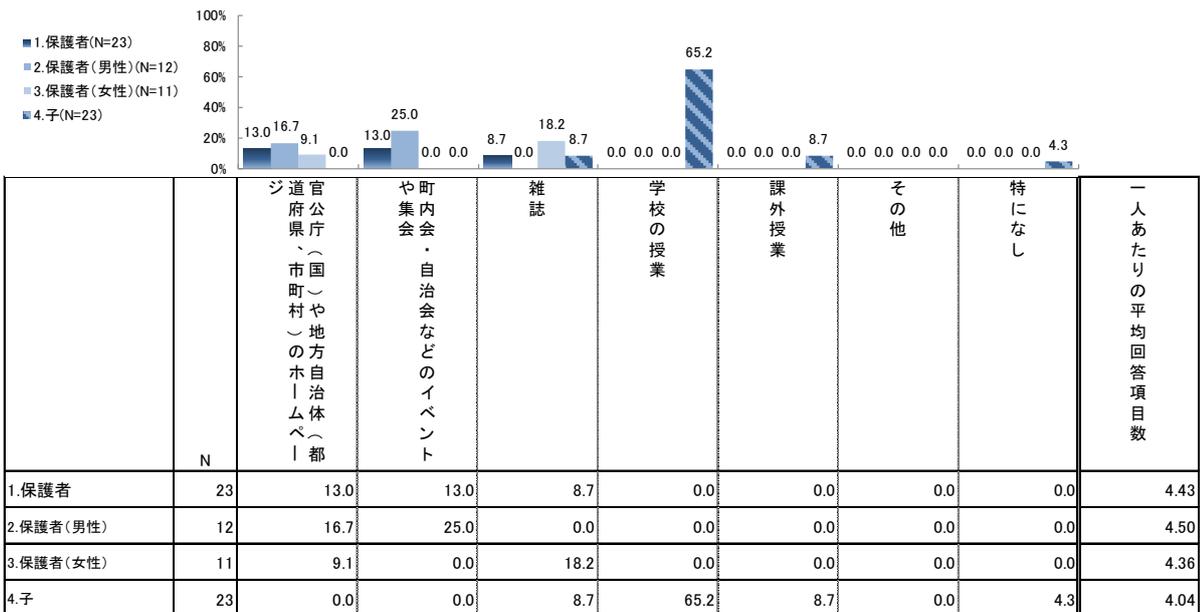
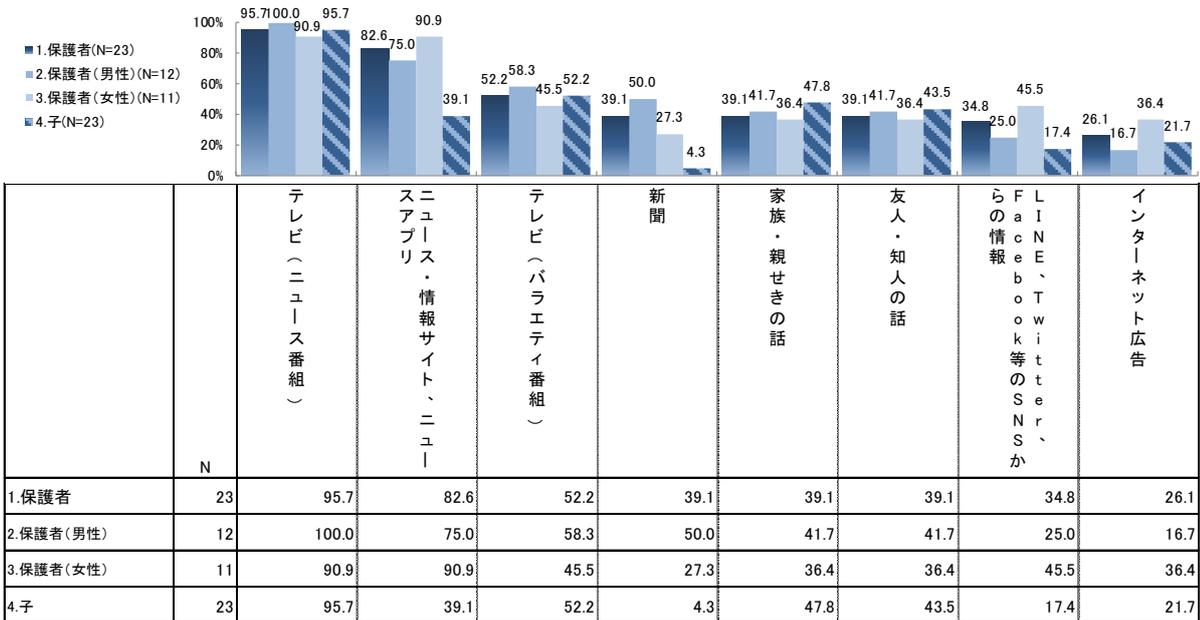
■ 日頃の情報源



日頃の情報源は

- ・「保護者」では、「テレビ（ニュース番組）」が最も高く 95.7%。次いで「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」の 91.3%。
- ・保護者を性別で見ると、男性はテレビや新聞が高く、女性はアプリや SNS が高い。
- ・「子ども」では、「テレビ（ニュース番組）」が最も高く 82.6%。次いで「学校の授業」の 65.2%。

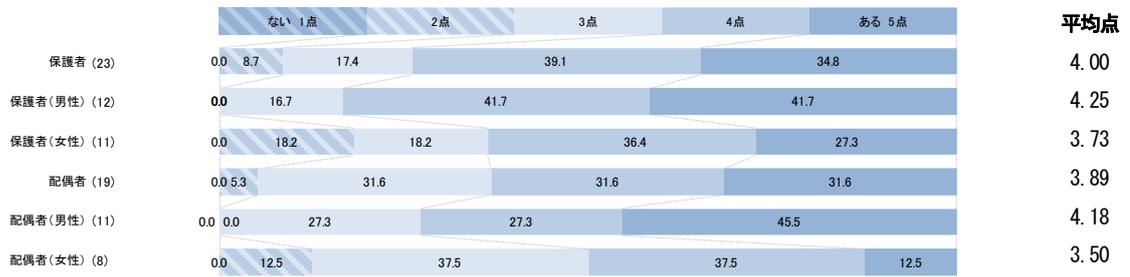
■ 財政、政治等の情報源



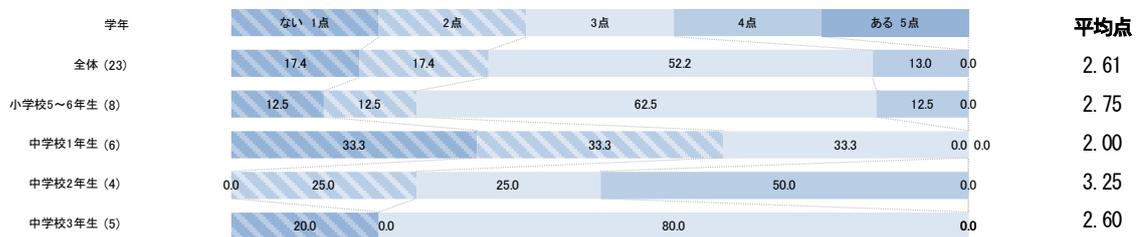
財政、政治等の情報源も、日頃の情報源と傾向は同じ。

- ・「保護者」では、「テレビ（ニュース番組）」が最も高く 95.7%。次いで「ニュース・情報サイト、ニュースアプリ」の 82.3%。
- ・「子ども」では、「テレビ（ニュース番組）」が最も高く 95.7%。次いで「学校の授業」の 65.2%。

■ 日本の財政に関する興味・関心 ※パンフレット読前
 保護者（調査対象者）・配偶者



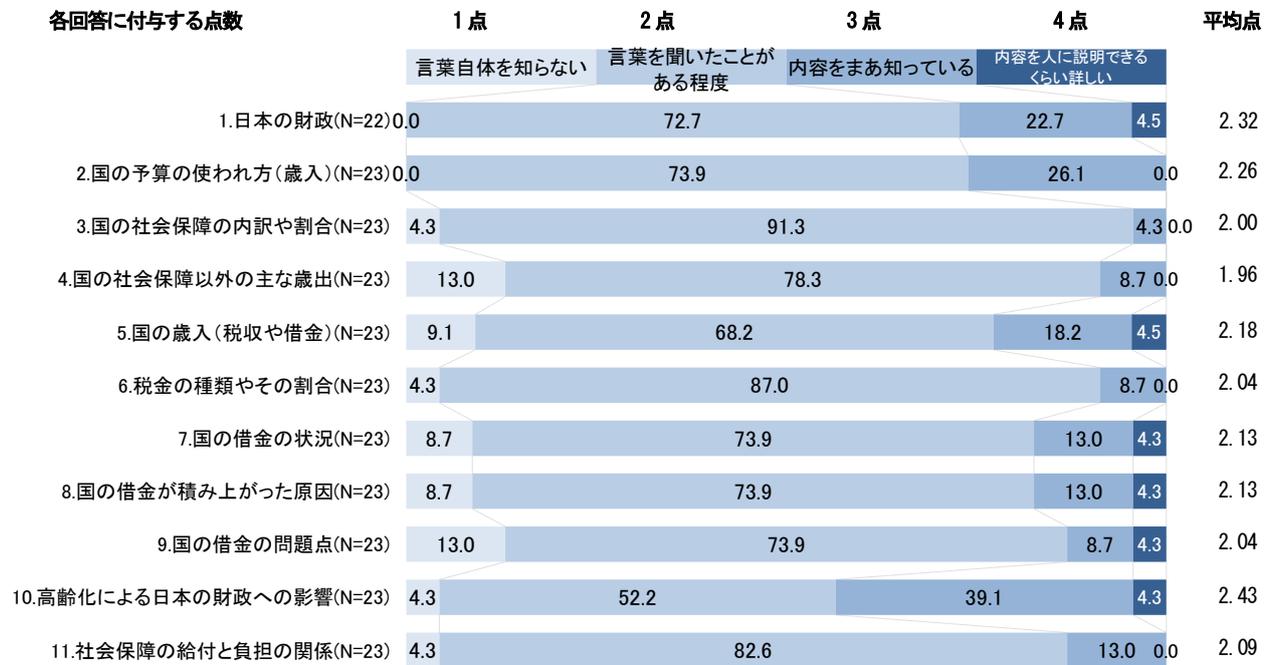
子ども



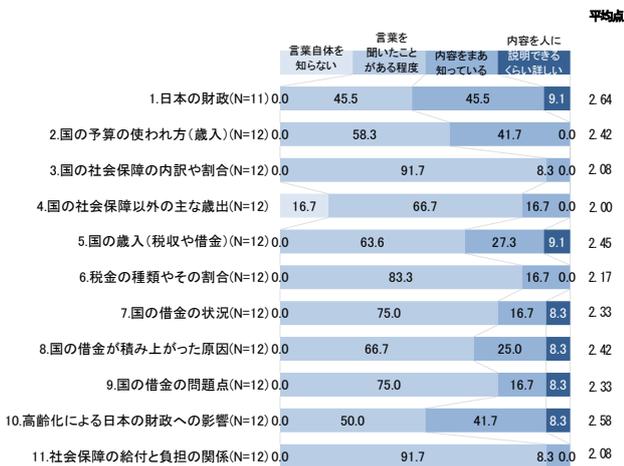
・「保護者」「配偶者」の興味・関心は高く、平均点は約4点。
 ・「保護者」「配偶者」を性別で見ると、男性のほうが興味・関心を持っている。
 ・「子ども」の興味・関心は低く、平均点は2.61点。「ある 5点」はいない。

■ 日本の財政についての理解 ※パンフレット読前
保護者（調査対象者）

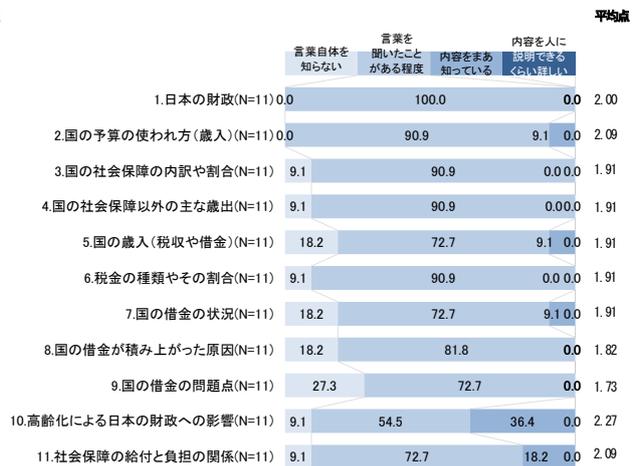
日本の財政に関する以下の内容について、それぞれ「内容を知らない」から「内容を人に説明できるくらい詳しい」まで、どの程度ご存知ですか。
あてはまるものをそれぞれお選びください。



保護者（男性）



保護者（女性）



- ・「言葉を聞いたことがある程度」が多い。
- ・最も理解があるのが「10. 高齢化による日本の財政への影響」で平均点は 2.43。次いで「1. 日本の財政 (2.32)」、「2. 国の予算の使われ方(歳入) (2.26)」。
- ・性別で見ると、全体的に男性のほうが理解が高い。「11. 社会保障の給付と負担の関係」のみ女性の理解のほうが高い。

2-2-1 結果の詳細 ※子ども（調査対象者）

パンフレットの読んだページ

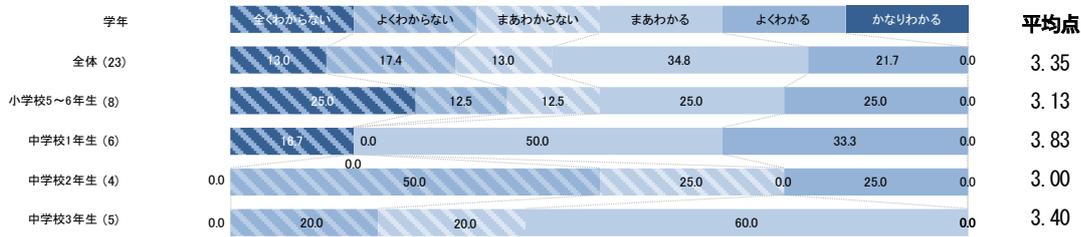
■ 読んだページ ※パンフレットの確認時間は約15分



- ・「9. 「借金」の国債比較」までは全員が読んでいる。
- ・中学生は、全て全員が読んでいる。
- ・小学生は、「10」～「13」を読んだのが75.0%。

「財政」という言葉の認知および理解

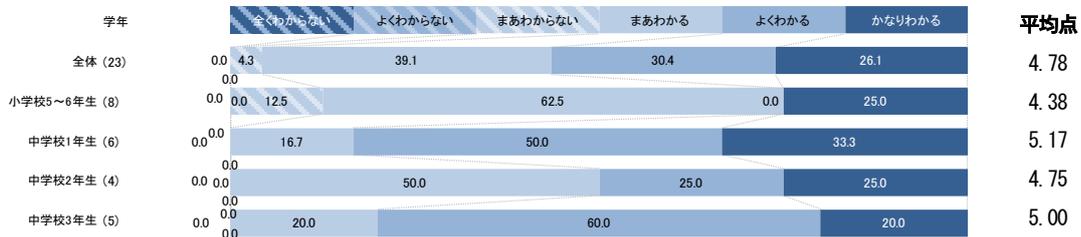
■ パンフレット読前



※「全くわからない」を1点、「よくわからない」を2点、「まあわからない」を3点、「まあわかる」を4点、「よくわかる」を5点、「かなりわかる」を6点として平均点を算出。

- ヒアリング内容（理解度等）
- ・「国のお金のこと」と回答。（多数）
 - ・ニュースで聞いたことがある。（多数）
 - ・池上彰の番組やニュースで聞いたことがある。（小6）
 - ・塾（私立中学受験）の社会の授業でやった。（小6）
 - ・学校の授業で聞いたことあるぐらい。内容はよくわからない。（多数）
 - ・学校では習っておらず、ピンとくる言葉はない。（小5、中2他）

■ パンフレット読後



※「全くわからない」を1点、「よくわからない」を2点、「まあわからない」を3点、「まあわかる」を4点、「よくわかる」を5点、「かなりわかる」を6点として平均点を算出。

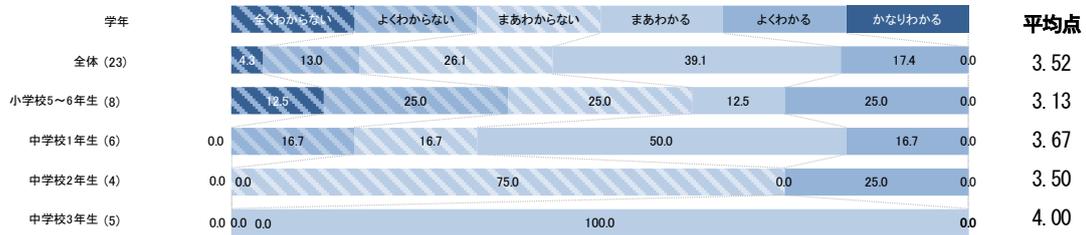
- ヒアリング内容（理解度等）
- ・「公共サービス」はみんなのためのものということがわかった。（多数）
 - ・「公共サービス」について「教育」「医療」等の言葉が出てきた。（多数）
 - ・財政とは、国が必要なお金をつけることだと理解した。（中2）
 - ・財政について分かった。ただ説明するのは難しい。（中2）
 - ・少し分かったが、全般を通じてわかりにくい。（小6）
 - ・一人あたりのサービスの金額は分かりやすい。また絵も分かりやすかった。（中1）
 - ・「②医療費」と「③道路整備等」はイラストだけでは分かりづらかった。（小6）

「財政」という言葉について、

- ・パンフレットを読む前と読んだ後とでは、平均点が3.35から4.78と高くなった。
- ・「かなりわかる」は、パンフレットを読む前ではいなかったが、読んだ後では26.1%になった。
- ・「全くわからない」「よくわからない」は、パンフレットを読む前ではそれぞれ13.0%、17.4%だったが、読んだ後ではいなくなった。

「歳出」という言葉の認知および内容の理解

■ パンフレット読前

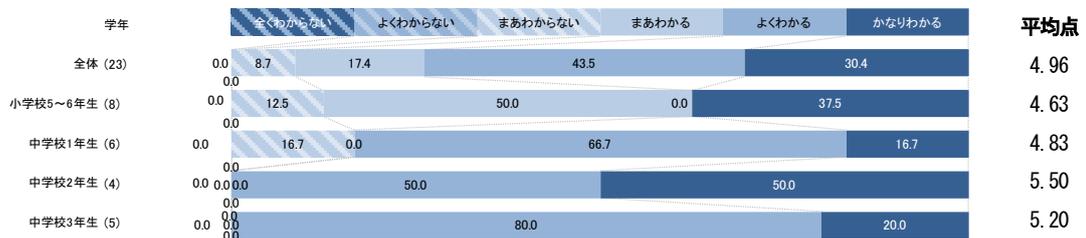


※「全くわからない」を1点、「よくわからない」を2点、「まあわからない」を3点、「まあわかる」を4点、「よくわかる」を5点、「かなりわかる」を6点として平均点を算出。

ヒアリング内容（理解度等）

- ・「歳出」は聞いたことない、「予算」はニュースで聞いたことがあると回答。（多数）
ただし、予算の規模については、わからない。（多数）
- ・「予算」は、令和2年の予算についてのニュースを見て知っていた。（中2）
- ・社会の授業や池上さんの番組を通じて知っている。（小6）
- ・「（歳出の）円グラフ」を見たことがあると回答。（小6）

■ パンフレット読後



※「全くわからない」を1点、「よくわからない」を2点、「まあわからない」を3点、「まあわかる」を4点、「よくわかる」を5点、「かなりわかる」を6点として平均点を算出。

ヒアリング内容（理解度等）

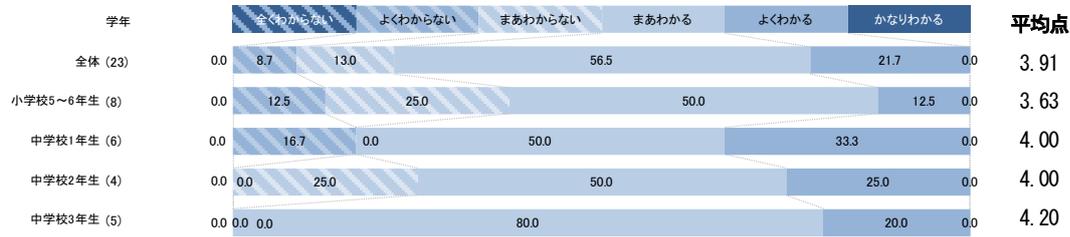
- ・社会保障が一番使われていると回答。（多数）
- ・「社会保障」は「医療」や「年金」等であることが分かった。（小6）
- ・国のお金の使い道として、多い順から「社会保障」「地方への交付金」「公共事業」「農業」「防衛」「教育」といった言葉が出てき、それぞれ意味も理解できていた。（中2）
- ・「地方交付金」は読む前は言葉すら知らなかったが、理解できた。（小5）
- ・「子ども・子育て」のイラストは分かりやすかったが、他の絵は分かる様な分からない様な感じ。（小6）

「歳出」という言葉について、

- ・パンフレットを読む前と読んだ後とでは、平均点が3.52から4.96と高くなった。
- ・「かなりわかる」は、パンフレットを読む前ではいなかったが、読んだ後では30.4%になった。
- ・「全くわからない」「よくわからない」は、パンフレットを読む前ではそれぞれ4.3%、13.0%だったが、読んだ後ではいなくなった。

「歳入」という言葉の認知および内容の理解

■ パンフレット読前

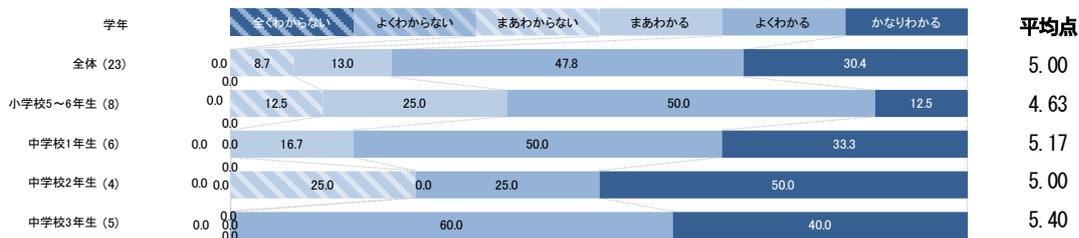


※「全くわからない」を1点、「よくわからない」を2点、「まあわからない」を3点、「まあわかる」を4点、「よくわかる」を5点、「かなりわかる」を6点として平均点を算出。

ヒアリング内容（理解度等）

- ・「歳入」という言葉は知らなかったが、税金という言葉は知っていた。（多数）
- ・「消費税」「所得税」という言葉が出てきたが、「所得税」の意味は理解できておらず。（多数）
- ・「消費税」「所得税」「固定資産税」という言葉が出てきた。租税教室で習ったため、「固定資産税」を覚えていた。（中2）
- ・塾の社会の時間に教わった。（小5）

■ パンフレット読後



※「全くわからない」を1点、「よくわからない」を2点、「まあわからない」を3点、「まあわかる」を4点、「よくわかる」を5点、「かなりわかる」を6点として平均点を算出。

ヒアリング内容（理解度等）

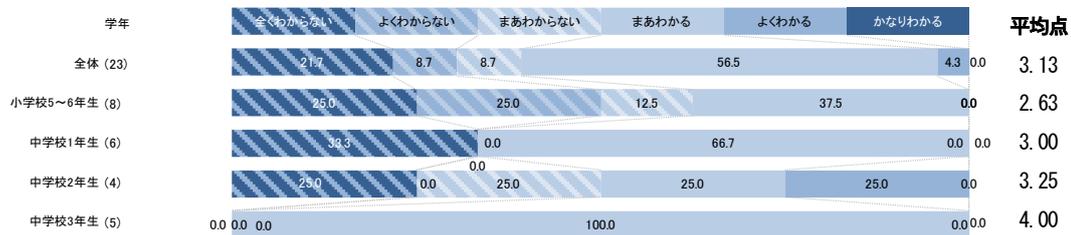
- ・多数理解できた税の種類も増えた。（多数）
- ・税の種類として「消費税」「所得税」という言葉が出てきた（それぞれある程度意味も理解できていた）。（中2）
- ・読前は知らなかった「法人税」「揮発油税」について理解できた。（中2）
- ・「揮発油税」は初めて知った、その他の税は授業や普段の生活のなかで見たり聞いたりしていた。（中3）
- ・消費税率上げについて税率、軽減税率は知っていた。引上げ時期は知らなかった。（中1）

「歳入」という言葉について、

- ・パンフレットを読む前と読んだ後とでは、平均点が3.91から5.00と高くなった。
- ・「かなりわかる」は、パンフレットを読む前ではいなかったが、読んだ後では30.4%になった。
- ・「よくわからない」は、パンフレットを読む前では8.7%だったが、読んだ後ではなくなった。

「国の借金」に関する内容の理解

■ パンフレット読前

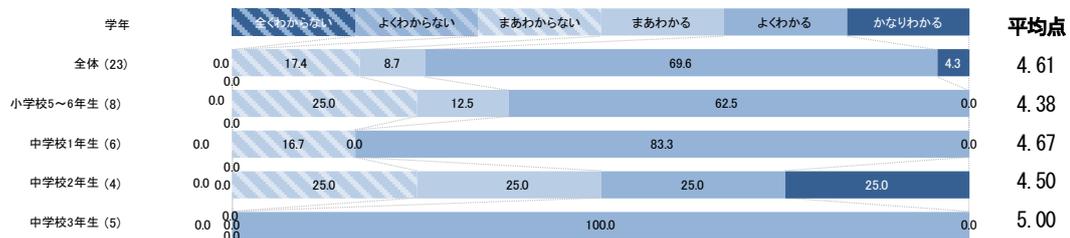


※「全くわからない」を1点、「よくわからない」を2点、「まあわからない」を3点、「まあわかる」を4点、「よくわかる」を5点、「かなりわかる」を6点として平均点を算出。

ヒアリング内容（理解度等）

- ・「国が借金している」ことは知らなかった（多数）
- ・国が借金していることは聞いたことがある。その規模についてはわからない。（中3他）
- ・日本が借金しているということは社会の授業で習っており知っていた。その金額についてはわからないが、たくさんあることは知っていた。（小5）
- ・国の借金総額が1000兆円近くあることは知っていた。ネットで調べた。（小5）

■ パンフレット読後



※「全くわからない」を1点、「よくわからない」を2点、「まあわからない」を3点、「まあわかる」を4点、「よくわかる」を5点、「かなりわかる」を6点として平均点を算出。

ヒアリング内容（理解度等）

- ・ワニ口という言葉覚えていて差が年々開いていることを理解していた。（多数）
- ・金額は覚えていないが、エベレスト、富士山のページは覚えており、借金が大変という認識。（多数）
- ・原因が社会保障費の伸びであることを理解。背景に高齢化があることまで理解。（多数）
- ・借金が伸びているということが分かった。矢印やエベレストが分かりやすい。（小5）
- ・社会保障が要因だと分らなかった。グラフや絵があると分かりやすい。（中1）
- ・P14は難しい言葉が多いので、なんとなくしか理解できていない。（中3）
- ・「GDP」「受益」など、意味が分からない言葉があった。（小6）

国が「借金」していることについて、

- ・他の内容と比べて理解が低い。
- ・パンフレットを読む前と読んだ後とでは、平均点が3.13から4.61と高くなった。
- ・「かなりわかる」は、パンフレットを読む前ではいなかったが、読んだ後では4.3%になった。
- ・「全くわからない」「よくわからない」は、パンフレットを読む前ではそれぞれ21.7%、8.7%だったが、読んだ後ではいなくなった。

「給付と負担のバランス」に関する内容の理解 ※パンフレット読後のみに確認

■ パンフレット読後

ヒアリング内容（理解度等）

理解できなかった等の意見

全体的な印象について

- ・理解していない様子だった。（小5）
- ・説明しても、理解度はあまり上がらなかった。（小5）
- ・分かったが理解が難しかった。パンフレットで一番難しい。（小5）
- ・グラフが難しい、見づらい。（小5）
- ・図は見方が分からず、意味が理解できていなかった（中3）
- ・アンバランスであること自体は理解できたが、図の示す意味までは理解できなかった。（中3）

レイアウトや表現について

- ・「給付」など、意味が分からない言葉があった。（小6）
- ・負担と給付が分かりにくく、相当難しい印象。（小6）
- ・給付と負担という概念がそもそも分からない。（中1）
- ・「給付」と「負担」という言葉が良く判らないし、このページも良く判らない。（中2）
- ・負担と給付が分かりにくく、相当難しい印象。（中3）
- ・「大きい政府」「小さい政府」がよくわからなかった。（中1）
- ・大きい政府、小さい政府が理解できなかった。（中2）
- ・大きい政府、小さい政府が理解できなかった。（中3）
- ・図の示す意味が理解できていなかった。※「GDP」を理解していないからで、グラフ自体が分からないわけではない。（小6）
- ・GDPがよくわからなかった。注意書きがあるといい。（中2）

理解できた等の意見

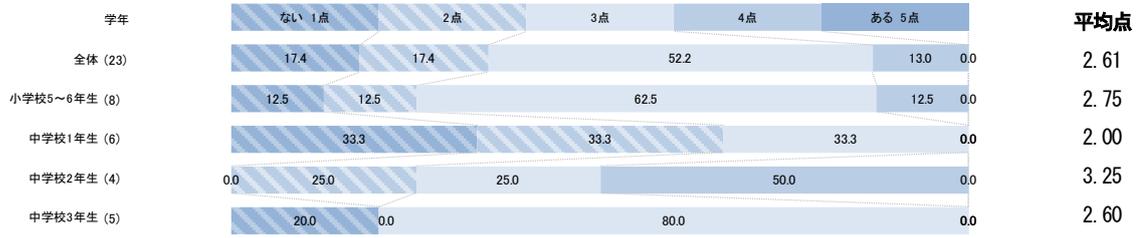
- ・説明で少し理解した様子。（小5）
- ・受益と負担についてある程度理解していた。（小6）
- ・やばい状況というのがわかった。（中1）
- ・他の国を比較して日本がどの位置にあるのか理解。（中1）
- ・大きい政府、小さい政府を知っていた。（中1）
- ・ある程度理解できた。（中2）
- ・図の示す意味を理解できた。（中3）
- ・言っていることはわかった。小さな政府・大きな政府の意味合いもわかる。（中3）

給付と負担のバランスがわかったか

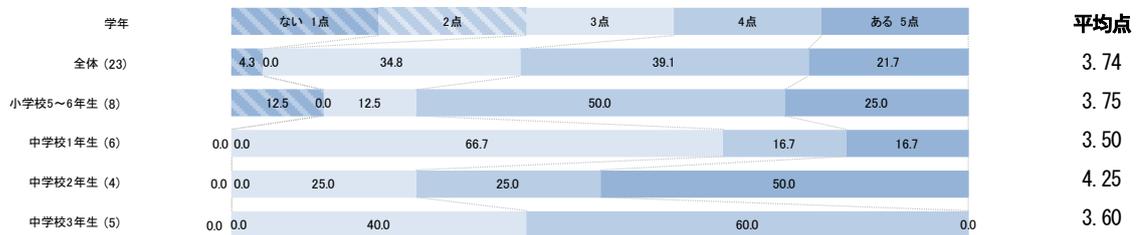
- ・パンフレットのなかで「理解できなかった」「難しい」との意見が最も多かった。
- ・理解できない理由として、「言葉や単語のむずかしさ」と「図（見方）」が挙げられる。
- ・分かりにくい言葉や単語は「負担」「給付」「GDP」「大きい政府」「小さい政府」。

日本の財政に関する興味・関心

■ パンフレット読前



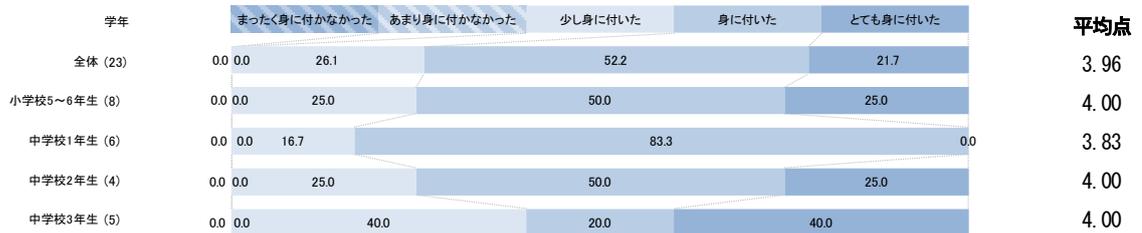
■ パンフレット読後



・パンフレットを読む前の平均点は 2.61 で、読んだ後の平均点は 3.74。保護者よりも差が大きい。 ※保護者は、4.00 から 4.17。

政に関する知識が身に付いたか ※保護者（調査対象者）が回答

■ 最後に本日お子さまがパンフレットをお読みになって、財政に関する知識が身に付いたと思いますか。



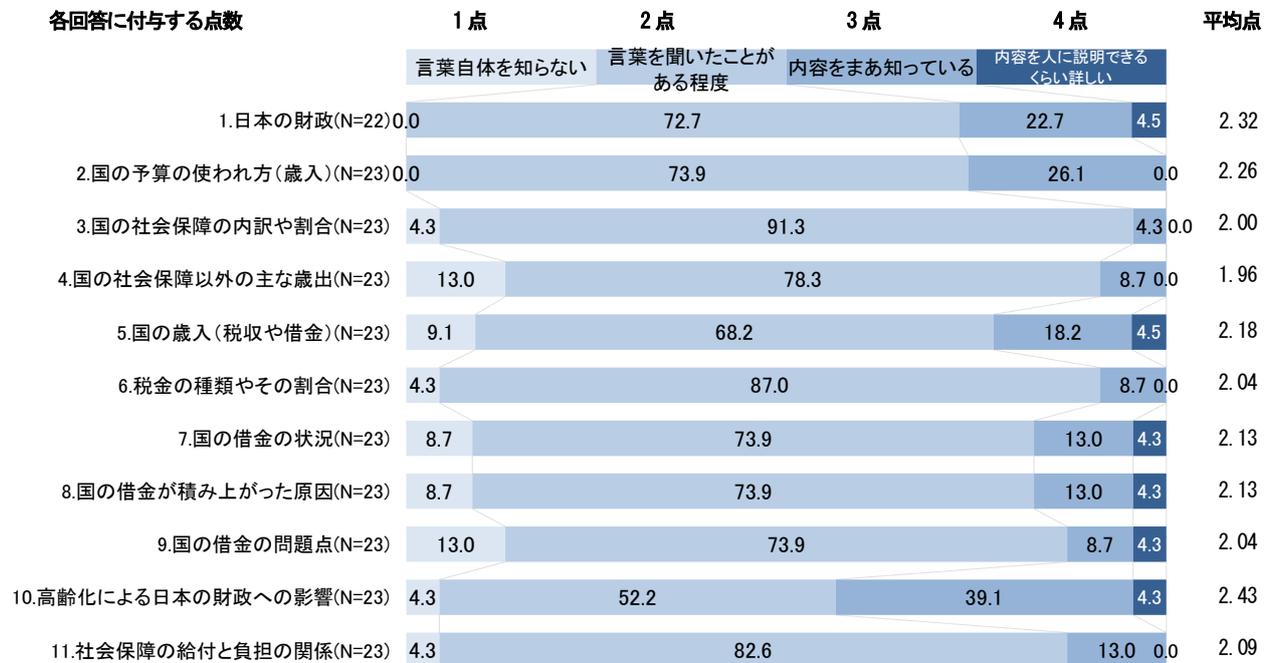
※「まったく身に付かなかった」を1点、「あまり身に付かなかった」を2点、「少し身に付いた」を3点、「身に付いた」を4点、「とても身に付いた」を5点として平均点を算出。

・「身に付いた」が最も多く 52.2%。次いで「少し身に付いた(26.1%)」「とても身に付いた(21.7%)」。
・「まったく身に付かなかった」はいない。

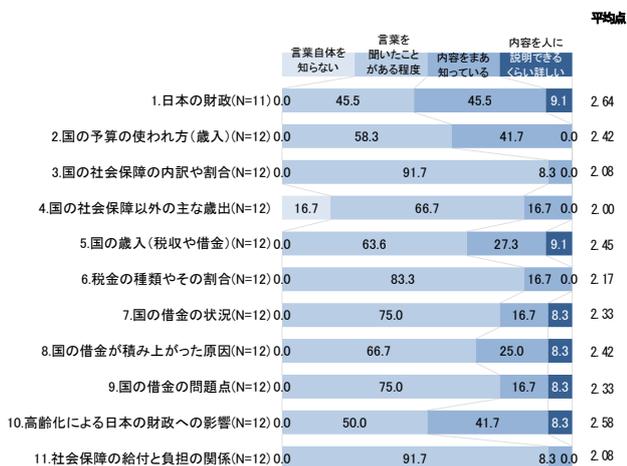
2-2-2 結果の詳細 ※保護者（調査対象者）

日本の財政についての理解

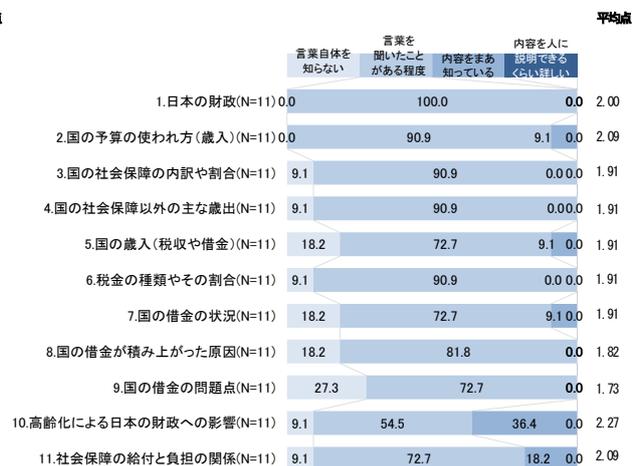
■ パンフレット読前



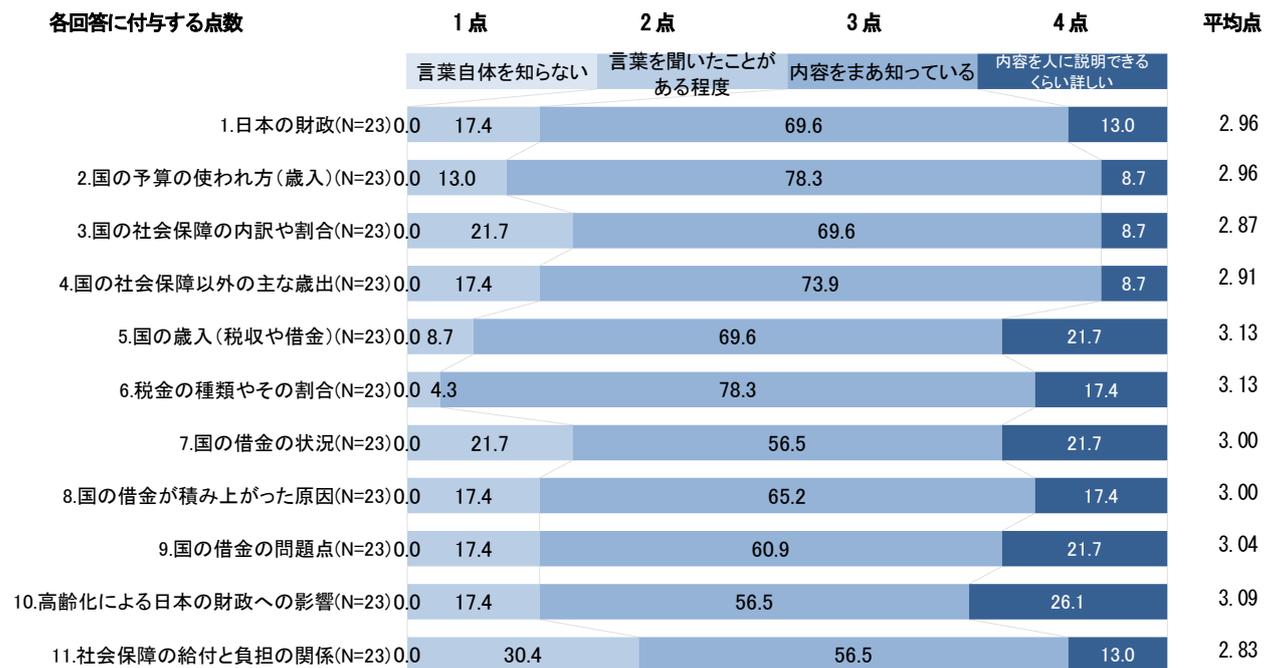
保護者（男性）



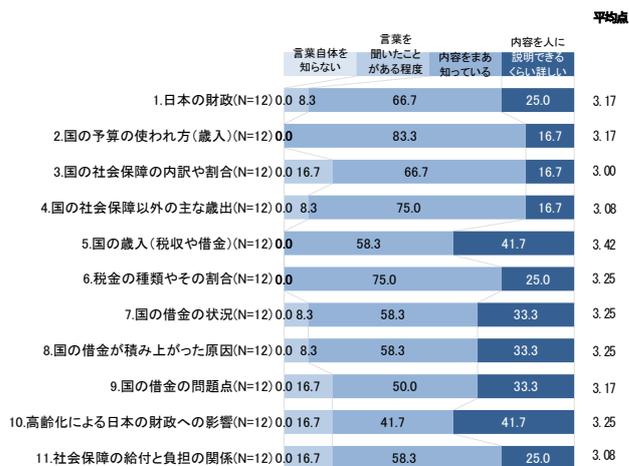
保護者（女性）



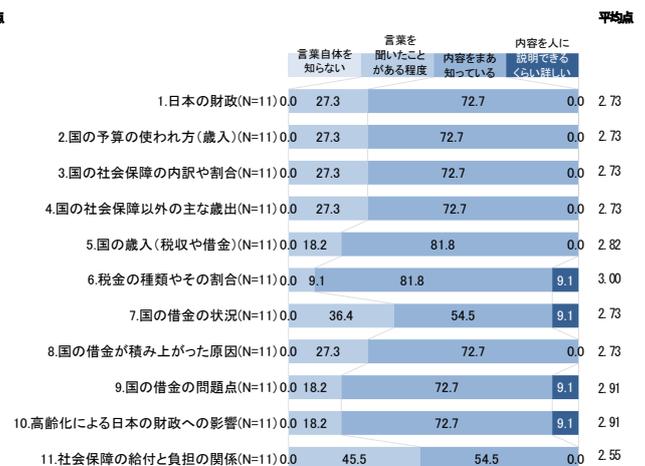
■ パンフレット読後



保護者（男性）



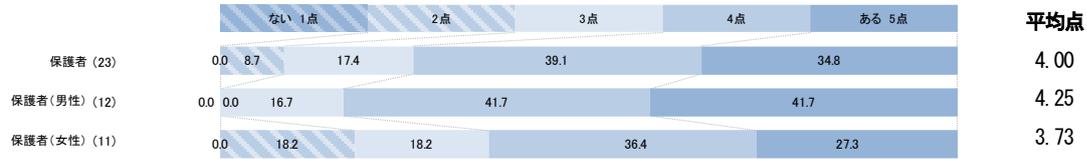
保護者（女性）



- ・パンフレットを読む前の平均点は、1.96～2.43。パンフレットを読んだ後の平均点は、2.83～3.13。
- ・最も平均点の差が大きかったのは「6.税金の種類やその割合」で、2.04から3.13になった。
- ・男性のパンフレットを読む前の平均点は、2.00～2.64。パンフレットを読んだ後の平均点は、3.00～3.42。
- ・女性のパンフレットを読む前の平均点は、1.73～2.27。パンフレットを読んだ後の平均点は、2.55～3.00。

日本の財政に関する興味・関心

■ パンフレット読前

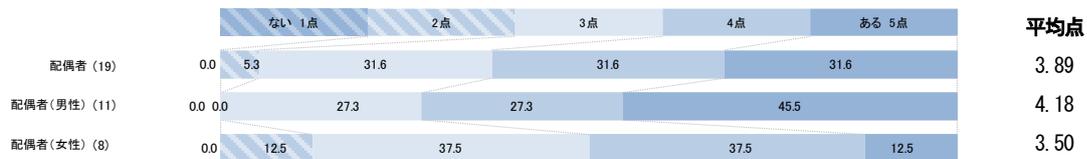


■ パンフレット読後



- ・パンフレットを読む前の平均点は4.00で、読んだ後の平均点は4.17。
- ・性別で見ると、女性の平均点は3.73で同じ。女性は、パンフレットを読む前後で「ある 5点」が27.3%から9.1%に減っている。

【参考】日本の財政に関する興味・関心 ※配偶者



2-2-3 結果の詳細 ※その他

関心を持った言葉や内容、覚えている言葉等

ポジティブ意見

分かりやすかった点について

- ・イラストが多く描いてあり、円グラフが大きくてわかりやすかった。(小6)
- ・「社会保障費」が色々なことに使われていることが良く判った。(中1)
- ・P4 年金に12兆円と多くのお金が使われているが分かった。(中3)
- ・税の所は“絵”が描いてあるからわかりやすいとのこと。(小6)
- ・税金の種類が色々あることが分かった。(中1)
- ・「揮発油税」がガソリンの税金だということが分かった。(中2)
- ・P9 歳出と歳入の差が借金だと分かった。(中1)
- ・P10 日本の借金が増え続けていることがよくわかった。(中2)
- ・借金が多いことが分かった。(小6)
- ・エベレストの絵はわかりやすい。(中1)
- ・他の国より日本の借金が多いことがよくわかった。(中2)

印象に残った点について

- ・社会保障が多いということを知覚えている。(中1)
- ・P9, P10 見やすく、内容としても記憶に残りやすい。(中1)
- ・P9, P10 ワニ口は印象に残った。(中3)
- ・P10 借金が増えていくグラフとイラストが面白かった。(小5)
- ・日本の借金が増え続けていることに驚いた。(中2)
- ・日本の借金が非常に多いことに驚いた。(中3)
- ・借金を重ねると将来使えるお金が減ることに不安を感じた。(中3)
- ・借金と社会保障が多いことが印象的だった。(中1)
- ・借金が多い、なぜ増えたのか。(小5)

興味・関心を持った点について

- ・たばこ税や揮発油税を初めて知った。(中3)
- ・P13 社会保障費が過去から3倍となっていることに関心を持った。(中2)
- ・P10, P4 の順で興味を持った。(中3)
- ・高齢化の進展が進んでいること、医療支出が多いことに関心を持った。(中3)

ネガティブ意見

分かりづらかった点について

- ・意味が分からない用語が多かった。(中1)
- ・P11 「GDP」が何かわからなかった。(小5)
- ・用語が難しい、「GDP」が分からない、P11 の意味が分からない。(小6)
- ・「GDP」「受益」「硬直化」など、意味が分からない言葉があった。(中1)
- ・P10 の箇条書き部分と和暦表示がわかりにくかった。(中1)
- ・P15 「将来の社会保障給付の見通し」のグラフがよくわからなかった。(中1)
- ・グラフが分かりづらい、借金の返済の意味が分からない。(中1)
- ・全体的に内容が難しかった。(中3)

パンフレットの良かった点・悪かった点

■ 子ども

ポジティブ意見

- 全体的な印象について
 - ・全体的には分かりやすかった。(多数)
 - ・グラフはわかった。説明が短くよかった。(中1)
 - ・授業の補助教材として使えばわかりやすい。(中3)
 - ・総じて授業の補助教材に適している印象。(中3)
- レイアウトや表現について
 - ・前半のページはイラストが多くてよかった。(小5)
 - ・「歳出」「歳入」など普段使わない難しい用語などが出てきたが、詳しく解説されておりわかりやすかった。(中2)
 - ・絵や図が数多く描いてあるからわかりやすいし面白かった。(中3)
- 具体的に良かった点について
 - ・P9 借金のグラフは印象にのこった。(中1)
 - ・P10 富士山の何倍、エベレストの何倍の表現はすごく多いというのは伝わった。(中3)
 - ・P11 日本は他国と比べ差が大きいので印象に残った。他国と比較するのはいいと思う。(中1)

ネガティブ意見

- 全体的な印象について
 - ・一部細かい部分で分かりづらかった。(小5)
 - ・最後まで集中して読める内容ではなかった。(小5)
 - ・全体的に漢字が多い。(中2)
 - ・もともと持っている知識による。(中3)
 - ・国債は知っていたのでわかるが、小学生にはわからないのでは。(中3)
 - ・国債を持つということの意味は中学3年生で習うので、小学生は知らず、まず単語を読めないかもしれない。自分も習うまで個人で買えるということも知らなかった。(中3)
- レイアウトや表現について
 - ・難しい漢字が多かった。(介護・医療・返済)(小5)
 - ・難しい言葉が結構あった。(硬直化・GDP)(小6)
 - ・一部難しい単語があった。(中2)
 - ・難しい用語も出てきており、親に教えてもらってようやく意味がわかった。(中3)
- 具体的に悪かった点について
 - ・P3, P7 返す額以上に借りる額が多いため積みあがるというのがわかりにくい。(中1)
 - ・P11 GDPがよくわからなかった。(中2)
 - ・P11 GDPは小学校高学年ではわからないのでは。(中3)
 - ・P12 突然メモが入るため、後のページを見ていない。(小6)
 - ・P13 ここからはあまり読みたいと思わなかった。(小6)
 - ・P13, P14 良く判らない。意味が分からない。(小6)
 - ・P13, P14, P16 判り難い。難しい言葉が多かった(中1)
 - ・P15 折れ線グラフが分かりづらい。(小5)
 - ・P15 グラフが難しかった。(中2)
 - ・P16 右上のフランスと日本で何が違うのかわかりにくい。(中1)

その他意見・要望等

全体的な印象について

- ・難しい言葉が多いので言葉の意味を説明してほしい。(小6)
- ・難しい言葉でもその意味がわかれば理解できると思う。(小6)
- ・漢字のルビがほしい。(小6)
- ・用語が分からない、説明を詳しくしてほしい。絵をもっと入れてほしい。(中1)
- ・もう少し簡単な内容でもよかった。中1、中2には難しいのではないか。(中3)
- ・身近なことに置き換えたりすることも対策のひとつだが、注意書きや注釈で単語や言葉の説明をする方が難しい単語を覚えるながれになるのではないか。(中3)

具体的な要望について

- ・冒頭 「索引」があるとわかりやすいと思った。(親からも同様意見)(小6)
- ・P9, P10 昭和という表記より、西暦のほうが歴史と結び付けて理解しやすい。(中3)
- ・P9 大きく増減した年は理由の説明があったほうがいい。(中1)
- ・P10 高さで比較するなら、宇宙くらいといった方がおもしろい。(中1)
- ・P10 金額で比較するなら、身近なもの(ゲーム機や学校)が何個かえるかがいいのでは。(中1)
- ・P10 グラフはお札を積み重ねたイラストにすればいいのでは。(小5)
- ・P11 GDPの説明あったほうがいい。(中1)
- ・P12 突然メモが入るため、後のページを見ていない。メモはやめた方がよい。(小6)

関心を持った言葉や内容、覚えている言葉等

- ・パンフレットの分かりやすかった点については、エベレストの絵が分かりやすい、また借金が増えていること、などの意見が多かった。
- ・パンフレットの印象に残った点・興味・関心を持った点については、グラフやイラストが多い、という意見が多かった。
- ・パンフレットの分かりづらかった点については、P15、P16の内容全般、および「GDP」などの用語が難しい、という意見が目立った。

パンフレットの良かった点・悪かった点

- ・パンフレットの良かった点については、イラストやグラフが分かりやすいこと、また、全体的に読みやすいという意見が多く挙げられた。
- ・パンフレットの悪かった点については、難しい漢字や単語が含まれていることに対する意見が大半で、特に「GDP」、「硬直化」などの用語が難しく、分かりづらい印象を与えている。
- ・全体的な要望としては、難しい言葉の説明を求める意見が多い。
- ・具体的な要望としては、P10のグラフの表現に関する意見が多い。
- ・また、「GDP」などの難しい用語に関する説明も求められている。

■ 保護者（調査対象者）

ポジティブ意見

『 全体的な印象について

- ・全体的には良くできているし、こういうパンフレットが身近にあると良いと思った。
- ・このようなパンフレットが必要だと思う。子供だけでなく大人も読んだ方が良いと思う。

『 レイアウトや表現について

- ・全体的にイラストがたくさんあるのはよかった。
- ・イラストは非常に分かりやすいと感じた。
- ・イラストはタッチがほのぼのしていてとつきやすい。
- ・絵が多くわかりやすかった。また、文字が大きく量を絞っているのはよかった。

『 具体的に良かった点について

- ・P1～P13 最初の方は判りやすかった。
- ・P9 「ワニ口」のような例えがあると、イメージがつかみやすく興味が湧く。
- ・P9 借金のグラフは印象にのこった。
- ・P9、P10 このページの書き方がわかりやすいと思う。
- ・P9、P10 借金の累積を絵で表現することは分かりやすい。ワニの口も分かりやすい。

ネガティブ意見

『 全体的な印象について

- ・大人が読んでも判らないところがある
- ・振り仮名が少なかった。
- ・全体的に字が多すぎる印象。

『 レイアウトや表現について

- ・理解しにくい単語が出てくる。
- ・難しい言葉が多い印象。
- ・子どもには分かりづらい。単語が難しい。GDPが何を言っているか分からない。
- ・子どもの立場であればそのページをとばしてしまうと思う。
- ・分からない言葉が出ただけで、それ以降のことが頭に入っていかなくなってしまうと思う。

『 具体的に悪かった点について

- ・P7 国債自体の説明がない。どこから借りるというのかわからない。
- ・P10 富士山の何倍、エベレストの何倍の表現はよくわからなかった。
- ・P10 借金の総量を説明するのに、縦に積む必要はあるのか？山の例えが不要。
- ・P11 なぜGDPで比較するのか分からない。
- ・P11、P15、P16 遠い国だと想像しづらい
- ・P13 以降 大人が読んでも理解しにくい部分がある。
- ・P14 以降 後半が判り難かった（NO. 11くらいから）
- ・P14 「国債保有層」、「償還費」などは単語の意味がわからないのでは。
- ・P14 文字ばかりで分かりづらい、大人でも分からないと思う。
- ・P16 「小さい政府」とかは読み込まないと判らない。
- ・P16 No. 13 良く読まないで判らない。説明不足で不親切。

その他意見・要望等

『 全体的な印象について

- ・ 絵やイラストが多いとよいのではないか。
- ・ 漢字にはルビを振って欲しい。
- ・ もっと簡単に書いてほしい。※「受益」「償還費」
- ・ 最初に難しい言葉が出てきてしまうと、後に続かなくなってしまうのではないか。
- ・ よりきめ細かな説明や簡単な言葉に置き換える等々の対応が必要だと思う。
- ・ 単語や言葉の扱い方にはより一層気を付けていく必要なのかもしれない。
- ・ 家のなかの財政を持ち出すことでよりイメージはしやすくなるのではないか。
- ・ いかにして、見てもらうか、手に取ってもらうか、親しみを感じてもらえるかが重要だと思う。
- ・ もっとポジティブに、歳入を増やす方法とか、歳出を抑えなきゃならないとか、やるべきことも書いて、子供たちが未来を感じられるような内容にしてほしい。

『 追加してほしい要望について

- ・ 導入として身近なこと（例えば消費税）と関連づけて説明するといい。
- ・ 空いているページ（MEMO）が有るので、登場する言葉のインデックスが最後の方にあると良い。
- ・ 最初ページに伝えたいことのサマリーを作ってはどうか。
- ・ 復習を促すクイズや覚えておくべきキーワードをそのページ記載すればよいのではないか。

『 具体的な要望について

- ・ P7 国債自体の説明がない。どこから借りるというのわからない。下のほうに注意書きでもそもどういものなのか記載しては。
- ・ P7 もっとこの借金がどのくらい大変なことなのか判るような比較が有った方が良い。
- ・ P7 長期的に何故返済しなければいけないのか説明を。
- ・ P7 消費税が増えた結果、どれだけ税収が増えたのか結果を書いたほうがいいのでは。
- ・ P8 より生活での実感を沸かせるために、絶対量ではなく、税率（例えば消費税なら10%）も記載するのがよいのではないか。
- ・ P8 実際の数字（1,000・・・）で記載してもよいのではないか。
- ・ P9 GDPの説明を注を入れるなどしてあったほうが良い。比較する国の基準はあるのか。
- ・ P10, P13 借金の総額や社会保障について、今後（10年後、20年後）どうなるかも書いてあるといい。
- ・ P10 富士山の何倍の表現がわかりにくい。他国と比較したほうがわかりやすいのでは。
- ・ P10 借金が多いことは伝えているが、多くても円の信用が落ちない理由や今後どうするかも伝えた方がよいのでは。
- ・ P10 借金の量について記載されていたが、解消するにはそうしたらいいかという記載がなかったので、あったほうが良かった。
- ・ P11, P15, P16 国の選定基準は何か。世界地図あればイメージが湧きやすい。
- ・ P11, P15, P16 中国や韓国など身近な国と比較してみてもは。
- ・ P11 なぜGDPで比較するのか分からない。借金の金額で比較してはどうか。
- ・ P14 強く言われているのに、最後の投げかけはゆるい。（考えてみましょう、で終わるのではなくもっと真剣に考えないといけないのでは）
- ・ P15 未来（2040）で比較してはどうか。
- ・ P16 中国が載っていないのはなぜか。なじみのない国ばかりで、韓国とかアジアの国があればわかりやすい。